

## 石西礁湖サンゴ礁基金

### 1 寄付

全国の方から、オンライン (Give One サイト経由)、現金、基金口座への振込みによる寄付が寄せられました。

平成 24 年度寄付金額合計 2,199,664 円、平成 21 年度からの累計 4,623,162 円  
みなとまつりでの寄付、Give One サイトで行われた寄付キャンペーンでの寄付、匿名の高額寄付があったため、今までにない多くの額となりました。

### 2 自然再生に向けた取り組み等

#### (1) オニヒトデ駆除 (酢酸注射法)

石西礁湖及び周辺でオニヒトデの大量発生が継続しています。

これまでの駆除方法では、ダイバーが 1 匹ずつ捕獲した上、カゴや網袋などに集めて船上に揚げ陸上で処分していますが、近年開発された酢酸注射法では海中で処理するため、労力軽減とオニヒトデの毒刺に刺される機会の減少が図れます

竹富町ダイビング組合は、年間計画を定め駆除活動を続けてきましたが、特に刺傷等安全面の問題が出て来ているため、これに対応できる駆除方法として酢酸注射法を取り上げ、普及を図るために実施しました。平成 24 年 6 月に鳩間島北東及び西表島北側海域で実施し (274 匹駆除)、経費は連続注射器購入費等 145,000 円です。

#### (2) みなとまつり「サンゴ SONGS」の実施

協議会の活動及び基金の広報のため、平成 24 年 7 月の「石垣港みなとまつり」で、基金とサンゴ SONGS 実行委員会の共催によるイベントを実施しました。

サンゴ SONG「夢色のさんご」の作成・発表、特設ステージでのサンゴサポーター (きいやま商店、R Y O E I) などのライブのほか、ブースで、生きたサンゴ・オニヒトデ、パネル等の展示、寄付呼びかけ、寄付金付き農産物・加工品などの販売を行いました。

経費は 30 万円あまりですが、募金箱への寄付、実行委からの協賛金の寄付、寄付金付き販売で 27 万円余の収入がありました。

#### (3) 赤土流出防止 (サトウキビ株出し栽培への農法転換推進)

サンゴ礁の再生のためには、サンゴの生育環境の改善が必要ですが、そのためには陸域からの影響の低減が不可欠です。特に農地からの赤土流出がサンゴの生育環境の悪化を招いているため、赤土の発生量を大幅に削減することができるサトウキビの「株出し」栽培推進を、22 年度、23 年度に引き続き実施しました。

現在一般的なサトウキビの「夏植え」栽培は、冬季の刈り取りから夏季の植え付けまでの間、畑が裸地状態となり、台風等で大雨の降る季節にも当たるため、赤土流出の大きな原因となっています。これを、刈り取り後の株から発芽させる「株出し」栽培に転換させることにより、赤土の発生量を大幅に削減することができます。

「株出し」が普及しない要因として、収穫と「株出し」の作業が集中する点があるので、「株管理機」という機械を導入することで農家の作業負担を軽減し「株出し」の推進を図る取り組みを行っています。

平成 24 年度は、12.23ha (20 圃場、16 農家) で実施しました。経費は 52 万円です。

\*平成 24 年度は、NPO 法人成立の前日まで終期を延長しています。